

小学校での国際交流授業



岩屋地区「韓国料理教室」



藤田地区「モンゴル舞踊・民謡」



国際交流の授業を行い、さまざまな言語のあいさつ、文字の書き方、子どもの遊びを紹介してもらいました。

木梨神社秋祭りの宵宮に、中国内モンゴルからの留学生を招き、モンゴル舞踊や民謡などを披露してもらいました。

婦人会主催の料理教室に、韓国からの留学生を招き、トッポッキやチヂミの作り方を教わりました。

これまでの交流例をご紹介します



「留学生人材バンク制度」は、豊かな知識や特技を持つ留学生と市民の交流の場を提供することで、活気溢れる

人材バンク制度とは…

外国人留学生の中には、母国の民族衣装や芸能を披露して、自分たちの国や地域の文化・風習を知ってほしいと希望する方が、たくさんおられます。一方、市民のみなさまの中にも、「外国人と交流してみたいが、どうすればよいか分からない」という方が多くおられるのではないのでしょうか。そのような市民のみなさまと、外国人留学生をつなぐ架け橋となるのが、留学生人材バンク制度です。

国際交流の架け橋

加東市にある兵庫教育大学には、現在約100名の外国人留学生が在籍しています。その出身国は中国を中心にインドネシア、ウズベキスタン、韓国、ネパール、フィリピンなど、世界中に広がっています。在籍身分は特別聴講学生、教員研修生、大学院生などさまざま、その数は年々増え続けています。

兵庫教育大学の外国人留学生

元気なまちづくりを進めるため、平成19年度に加東市が創設した制度です。外国人留学生との交流を希望する団体に、あらかじめ登録された外国人留学生の中から、交流の目的に合った人材を紹介するというもので、市内に大学がある加東市ならではの制度です。ほとんどの留学生は流暢な日本語を話すことができるので、国際交流にネックとなりがちな言葉の心配もありません。また、留学生と一緒に事業を計画していくため、スムーズに交流を進めることができます。

交流の方法はさまざまです

留学生人材バンク制度の活用方法はさまざまです。例えば、地域の集会で外国語のあいさつや歌、文字の書き方を教わったり、お祭りや民族舞踊や外国音楽を披露してもらったりすることができます。留学生を講師に迎えて、外国料理や民族芸能を学ぶこともできます。兵庫教育大学の留学生の大半は教育学を専攻しているため、母国で教師をされていたりするので、「教える」ことに長けています。また、盆踊りや和食など、日本の伝統文化を紹介することで、留学生との親睦を深めると同時に、日本を世界に発信することもできます。

～加東でつながる世界の輪～ 外国人留学生人材バンク制度

兵庫教育大学では、アジアを中心としたさまざまな国からの外国人留学生が数多く学んでいます。今月は、市民のみなさまと外国人留学生をつなぐ架け橋「外国人留学生人材バンク制度」をはじめ、日本にいながらにして体験できる国際交流についてご紹介します。